



目次

特集●第40回関東オープン	ゴルフQ&A	15
理事長インタビュー	KGA競技委員ルール研究会	16
関東ゴルフ連盟理事長 細川護貞	平成元年度 関東ジュニアゴルフ選手権競技	17
くドキュメント>関東オープン24時間	新規加盟倶楽部紹介	19
誇り、名譽、そして金	1990年度 関東ゴルフ連盟競技日程表	20
一粒万倍、一波万波	理事会・委員会	21
キャディーさんのロングストレー	月例競技成績表(7・8月)、お知らせ	24
	表紙photo 日高カントリークラブ	

KGA 関東ゴルフ連盟

特集●第40回関東オープン

理事長インタビュー

伝統と文化は頑固でないと守れない

関東ゴルフ連盟理事長

細川 護貞

聞き手・KGA広報委員 杉山 通敬
写 真・KGA広報委員 深井 昌司



—今年度の関東オープンは40回の記念大会になつたわけですが、選手（プロ）の間でいろいろな意見が出ました。賞金が少ないというのも大多数の意見だったのですが、まず、賞金額のことからお伺いしたいと思います。

「もう少しアップしてもいいという意見もあるんですが、他の地区連盟主催のオープンとの兼ね合いがありましてね。関東オープンだけが突出するのはどうか、という意見も一方ではあるわけです。選手（プロ）としては当然の希望でしょうね、賞金額を多くしてくれというの。しかしそれだけでいいものかどうか、考えさせられる問題がいろいろあります。たとえばシード権がありますね。これは年間の獲得賞金の上位者に与えられているようですが、はたして金だけで評価していいものかどうか」

—賞金以外の要素を加味するとしますと、どういうものがあるでしょう。

「ひとつの考え方として点数制があると思います。日本オープンに優勝したら何点、2位になら何点。そうやっていろいろなトーナメントを点数で評価して、その高得点者にシード権を与えるようなことも考えられると思うんですね」

—人間に人格があるようにトーナメントにもそれぞれ「競技格」があると言ってもいいかもしれません。歴史とか伝統とか、そのトーナメントがゴルフ界に果たしてきた実績とか。

「ええ。賞金だけで全てを評価する方法が妥当であるかどうか、一度、プロ協会とも話し合ってみる必要があると思いますね。日本ゴルフ協会の傘下には全国に8つの地区連盟があり、それぞれの連盟が地区オープンを主催しているわけですね。関東ゴルフ連盟が関東オープンを主催しているように。関東オープンの賞金は安いから出ないけど、日本オープン

は賞金が高いから出る、という選手がいるようですが、これはちょっとおかしい。傘下の連盟主催の競技に出場して、はじめてJGA主催の日本オープンの出場も可能になる。そういうシステムにしたらどうか、という意見もあります」

—戦後間もないころから現在まで、関東オープンが果たしてきた役割というのはそれなりに評価されていいと思うのですが、前後に高額賞金のスポンサーツーナメントがありますと、スキップする選手が出てくるのも現実です。

「休養して次の試合に出ればいい成績を取ることも出来ましょし、健康管理のことも考えるでしょうしね。しかしそれもこれも賞金だけでスキップするはどうでしょうかね。こちら側にも研究の余地がありますけども」

—ひとつの私案ですが、現在の地区オープンを一つにまとめたらいかがでしょうか。例えば北海道オープンは北海道ゴルフ連盟が主催して、これには全国の選手たちが参加出来る。そうやって全国8地区的連盟が持ち回りで、8年に1回、全国規模のオープンを主催して、その他の連盟はそれに協力するというようにしたら、どんなものでしょうか。

「それも一つの案ですね。ただ、そうしますとその

地区にいる選手が参加するチャンスが狭められて、いままで出場出来たのにこれから出られない可能性が強くなりはしないですか。地方のレベルを上げるという意味から言って地区オープンにはそれなりの良さがあるように思いますし、全国規模にするメリットとデメリットをよく吟味する必要があるでしょうね。いずれにしても、われわれがプレーヤーとしてやってた頃とは時代が違つてきましたから、現在プレーしている人たちにいろいろと意見を聞いて、いい方向へもっていきたいと思います」

—関東オープンにしろ、関西オープンにしろ各地区オープンは実際にはクローズドになっていると思うんです。関東の人でなければ関東オープンに出られないわけですから。

「確かにクローズドですね。しかしむかしはそうじやなかったんです。文字どおりオープンで、誰もが参加出来た。ところが強い人がいつも勝っちゃうので(笑い)、開催日を同じにして一斉に地区オープンをやろうということになったわけですね。地方にはその地方の強い人がいて、それなりの参加意欲を持ってますので、そういう人達から不満が出ないようすることも考えておかないとまずいと思います」

—今年の関東オープンでもうひとつ話題になったのは水巻善典選手の“動かされたボール”でした。人間の肉眼か、テレビカメラの眼か、自己申告のゲームに新たな問題を提起したのですが、理事長はどうお考えですか。

「非常にむずかしい問題ですね。肉眼では確認できないほどの微妙な動きだとしても、動いた事実にはかわりないんですからね。ゴルフのルールは公平公正に運用されるべきですから、ある選手はその程度の動きでは動いたとは思わずそのままプレーをつづけ、ある選手は動いたから罰打の申告をする、というのでは困りますね。ただ、本人もマーカーも気づかなかつたのだから、動いたとは認めないという見方をするのも一つの見識かもしれません。いずれにしても、今後もこの種のことは起り得ると思いますので、ルール委員会で研究したうえ、見解をまとめておく必要があるでしょうね。今度のことが発端になつてアラ探しをするようなことになつてはまずい。ゴルフのルールは自己申告が原則ですし、そのため

には自分に有利な解釈をしないことが前提になつていて、そのことを守つてプレーしていれば、自ずと解決されると思います」

—いつどこで誰が見てるか分からないのだから、よくよく注意してプレーしなさいよ、という意味の警鐘になったのではないかでしょうか。

「わたしもがゴルフを習つた頃は、飛球線に対してピン方向に向つてボールの手前で素振りしますと、それだけで空振りしたものと見なされましたね。こつちは打つ意志がなくても、遠くのほうから見るとその意志があったように見られちゃう。2回素振りすれば2ストロークですよ。それからボールを探して、すぐには見つからず、なんの気なしにズボンのポケットに手を入れると、それでロストボールの意志表示をしたものと見なされていた。いまお前はポケットからボールを出そうとしたではないか。それはロストボールを申告したことになる、というわけです(笑い)」

—厳しいもんですね。

「疑わしい行為をしてはいけない、という戒めになつました」

—話は別ですが、バルセロナのオリンピックではゴルフも競技種目に加えられると聞いてますが、日本は参加する予定ですか。

「昨年、スウェーデンで世界アマがあったときに打診されたんですが、わたしもは不参加の意向を伝えておきました。アメリカとイギリスもそのようです。と言うのは一つにはすでに世界アマが行われていますから。それにオリンピックがアマとプロの差をなくして、各国ともオリンピックに出場する選手なり競技団体に補助金を出しますね。国からお金を貰つて選手を育成すること自体、アマチュア違反ではないか。協会が違反行為をやつてはまずい。わたしもそうですが、英米も同じ意見でしてね。アマチュアリズムを世界的なレベルで維持するのはまことに困難になってきましたが、どこまで守れるか分らないにしてもわれわれだけでも出来るだけ守つてみようではないか、というのが日英米の見解でした」

「そのとうりです。伝統と文化は頑固でないと守れません(笑い)」

〈ドキュメント〉

関東オープン24時間

写真 深井昌司・舟橋一芳・片山晴美(KGA広報委員)

話題の多い“オープン”だった。しかし、選手も関係者もギャラリーも、みんな満足しきった、さわやかで感動的な“オープン”だった。

ここに紹介するのは、決してチャンピオンにはなれないが、その生みの親たちの4日間の記録である。



AM 5時20分 事務局員クラブハウスに飛び込む この朝は10分早着



AM 6時 古賀競技委員長到着 署名簿にサインするさまピンポジションのチェックに出勤



AM 6時20分 KGA、クラブ旗を掲揚 キーバーはグリーンの整備



AM 6時20分 学連(関東学生ゴルフ連盟)のアルバイトの朝の点呼



AM 6時30分 前日の委員会の指示どおりのピン位置にキーバー*ピン切り。開始



AM 6時30分 早いスタートの選手来場 朝食後入念にウォーミングアップ



AM 6時50分 競技委員会始まる 委員長、副委員長より細い指示



AM 7時28分 アウト・イン1番組スタートの選手を紹介するNHKアナウンサー



AM 7時29分 スタート担当委員スコアカードを手渡し諸注意を与える

特集●第40回関東オープン



AM 7時30分 いよいよスタート
カメラマン一斉にシャッターを押す



AM 9時 人気プロのスタート時間迫る ティーグラウンド周辺の顔々



AM10時 入場者数4,000名を越す



AM 8時 1,000台収容可能の第1駐車場はほぼ
満車 第2、第3駐車場も順次満車となった



AM 9時 バッティング・グリーンで入念に練習調子のいかんによってはホールアウト後も
AM 9時30分 キャリングボードをチェックし全ホール選手に随行する



AM10時5分 17番ロングホールでトラブル発生
強風のため カイズカイブキ倒れる



PM 0時 ギャラリープラザは大賑い
観戦の合間に一息入れる



PM 0時30分 大スコアボードへ毎ホールスコアの報告
記入が始まる



PM 1時 18番ホールのフォアキャディ
球の行方に神経を配る



PM 2時 18番ホール右手の木に船
渡川選手のボール 粉失球となる



PM 3時20分 最終組のホールアウト迫る
大会本部は スコア問い合わせ等で大忙し

PM 3時50分 水巻選手優勝決定の
瞬間 奥さんに“お前のおかげだよ。”

特集●第40回関東オープン



PM 4時30分 プレスルームでは記者が送稿開始
好スコアの選手には 別室でインタビュー



PM 6時 翌日の選手のゼッケンを準備
同じキャディーが同じ選手に



PM 6時40分 大会本部でも明日
の準備 スタート表等を入念に点検



PM 8時 燐りのついているのはプレス
ルームだけ



PM 7時30分 明朝の競技委員会の準備
トランシーバーは特に入念にチェック



かくして
チャンピオン誕生
(水巻選手)

誇り、名誉、そして金

文・宮元昭雄(KGA広報委員) 写真・石川博英(KGA広報委員)

今年の関東オープンも数々の問題を提起してくれた4日間だった。最終日こそ空風まじりの強風下での激戦となつたが、好天に恵まれ、前年度を上回るギャラリーで会場は溢れていた。

開催コースとなった日高CCは、このトーナメントのために俱楽部関係者はもちろん全会員一丸となって協力し、2年がかりでコース整備に全力投球してくれた。そのお陰で申し分のないコースセッティ

ングのもとで試合は展開された。ファンにとっても大変すばらしい4日間であったと思う。

「ドキュメント・オープン24時間」でも紹介したように、大会を運営するためには、早朝から夜おそくまで関係者は大変な努力を続ける。その苦労の内容は仕事とはいえ相当きついものだ。

いつものことながら、こうした舞台裏を支える裏方さんの支えがあって、円滑な運営ができるのだ。

またそのことがオープン競技の持つ、名譽とか権威を支えていることにも思いをいたらせてほしいものだ。

とくに開催コースの日高CCの関係者の皆さんには、心から敬意を表しておきたい。



毎年 使用しないコースのフェアウェイはギャラリー広場となる。さまざまな出店が並びギャラリーで大にぎわい

大会は強豪青木選手の鋭い追い込みで試合が伯仲し、予想以上の盛り上りを見せてくれた。そして新鋭水巻選手があざやかに逆転、逃げ切り、初のメジ



ほとんどの選手はハウスキャディーさんを使う グリーンの芝目 アンジュレーションなどいちばんよく知っているから

ヤータイトルを獲得した。

尾崎軍団を欠いたトーナメントであったが、青木の健闘や、不調を伝えられる中島が、試合後日没までひたむきに練習ボールを打ち続ける姿に、多くのファンは感動を覚えたことであろう。

尾崎三兄弟はなぜ欠場したのか

だが、会場内のファンの多くに、尾崎兄弟の欠場に怒りともつかぬ不満の声が聞かれたことは残念でならない。

今年度のジャンボ軍団の活躍が華々しいだけに、その豪快なショットを一目見ようと詰めかけたファ

ンにとっては、その欠場は駄然としないものがあつたに違いない。

「賞金が少ないから出ない……」「昨年からトラブルが尾を引いているようだ……」とか、欠場の理由を知られないファンたちは無責任な形で噂していた。たしかに目玉の一人と目されていた尾崎将司選手の欠場は、その理由がなんであれ話題をさらったわけだが、欠場の真の理由は残念ながら本人以外誰も知るすべはない。

たしかにスポンサー付きで行われる他のトーナメントに比べれば、華やかさもなければ、賞金額の点でも低いことは事実である。

かつて『オープン』が関東、関西の二地区に分かれて行われていたように昔の姿にどれば、いろいろな問題も変わってこようが、現在は九州や北海道といった各地区毎にオープン・トーナメントが開催されている。賞金額と各地区とのバランスが考慮されており、稼ぎを目的とするプロにとって不満はあるだろう。しかし、オープンと名付けられたこの大会は、ゴルファーとしての名譽をかけ、年に一度その地方の幅広いファンにゴルフの神髄を披露し、アマとプロが交流して行うところにオープンの意義がある。出場することを誇りに思うべき……と考えるが、「価値感の違いだ」の一言で片付けるプロがいるとしたら、大変なげかわしいことである。

ある中堅プロは「金より名譽を大切にしろと教えられたが、今はすべて金のため。しかし、人の価値感を他人として云々しても仕方ないよ」という。

真の『世界的選手』の条件

プロにとって賞金の積み上げが自らの明日の生活にかかっている、ということは百も承知だが、40年の歴史をもつこの関東オープン、いうなれば今日のゴルフ界の発展のルーツはオープンに始まっているのだし、プロが今日ゴルフで飯が食える時代になった歴史的背景を考えれば、例え賞金が低いから、といってこの大会の出場を辞退するが如きは全くもって不見識と非難されても仕方あるまい。ファンにしてみれば、相当の入場料を払って見に来るわけだし、相手が日本を代表する尾崎だけに、その欠場を残念がると同時に批判的に見ることは当然といえようか。

など、今こそ再検討するチャンスかも知れない。

でなければ各地区オープンはもとより、日本最大のイベントといわれる日本オープンも形骸化する恐れがある。

忘れてほしくないアマの本質

もちろん、プロが出場するしないは年間に定められた試合の中で16試合をクリヤーすれば、よいだけのことだ。だから、自分の意志でどの大会でも出欠の選択が許されている。しかも今回のオープンの場合、エントリーはプロ協会が受け、主催者側には最終的には参加選手が知らされるという仕組みだから、出場して欲しい選手も意のままにならない。ファン・サービスを考える主催者側にとっては大変頭の痛い問題でもある。尾崎選手欠場の理由がなんであったのか改めて穿鑿する気持はないが、議論の余地は残されているよう。

細川連盟理事長は挨拶の中で「マスコミの記事の中には、世界的な選手という言葉が出るが、世界的な名選手とは、例えばボビー・ジョーンズとかハリー・バードンとかジョージ・ダンカンやトニー・アーマーらのように、ゴルフ史を繙けば必ずといってよいほど名前が出来る名選手たちの言動と見較べる時、そこには格段の差があると思う。

ゴルフの技術の問題でなく、ゴルファーとしての人格の問題だ」と、世界的選手という表現に疑問を投げかけたが、その意味するところには、ややもすれば過熱状態になり過ぎているゴルフ界で、ゴルファーとしての品性、人格を改めて見直す必要性を多くのゴルフ関係者に期待したものであろう。

関東オープンは、ゴルフを通じての人間形成も開催目的の一つである。その観点からも運営の在り方



3日目 *68。のベスト・スコアも出したアマの深堀選手

さて水巻選手の優勝は関東オープンの歴史の一頁を飾るにふさわしい勝利であった。グリーン・サイドでは6ヵ月にも満たない愛児を抱いた順子夫人と涙してその優勝の感激にひたっていた。この親子に贈られた惜しみないファンの拍手が、その感動のすべてを物語っていたといえよう。ゴルフは今や大衆の花形スポーツとして隆盛を続けている。テレビ普及でそのファンの数は一層増加することだろう。それだけ質の高い試合が要求される時代へと進んで行くことだろう。

ベスト・アマに輝いた深堀圭一郎選手のベスト10入りは見事だったし、若い学生の中には将来のプロを目指している者もいるだろう。こうした機会に自らの技量を試せたことも或る意味では有益なことだったと思う。ただ苦言を呈すれば、クラブハウスに上衣を着用しないで来たり、スパイクにはきかえて受付に来るようなマナーの悪さは、是非改めてもらいたいものだ。アマチュアとしての品格はゴルフの技量とは関係なく心がけて欲しいものだ。

日本がアメリカに次ぐゴルフ王国といわれる今日だが、本質的にはまだその足もとにも及ばない。アメリカのプロ社会にはいまだにアマチュア・ゴルファーのビヘイビアを尊敬する風潮が強い。しかし、わが国はアマチュアがプロゴルファーに憧れるあまり、ややもすればアマの本質を忘れがちになることが多い。プロも同様、ちょっと有名だからといって年輩者に対する言葉づかいなど礼儀をわきまえない者をよく見かける。ゴルフの技術も一級、しかも人格的に尊敬されればつまり世界的選手ということになるわけだ。そうあって欲しいものである。

「アマは名譽、プロは金」といわれるが、アマはスポーツで何が得られるか、という問題が提起される。人間としての高い評価を得るゴルファーの育成こそ、オープン開催の意義であり、連盟活動の目的であろう。

一粒万倍、一波万波

文・杉山通敬(KGA広報委員) 写真・石川博英、片山晴美(KGA広報委員)

トーナメントが持つ使命

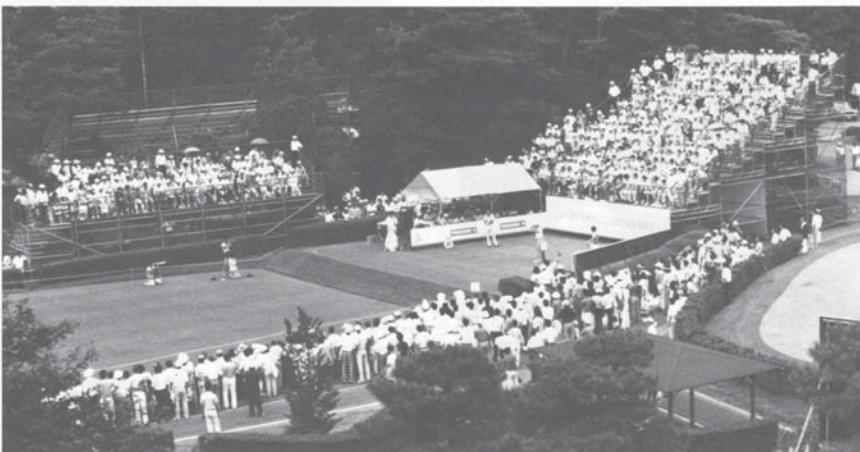
関東オープンゴルフ選手権大会(以下関東オープン)は今年、40回を迎えた。第1回大会は昭和25年5月11日、12日に霞ヶ関カントリー俱乐部で1日36ホール、2日間72ホールのストロークプレーで行われ中村寅吉が292ストロークで優勝し、5万円の賞金を獲得した。参加者はプロが37名、アマが47名(そのうち外国人選手が26名)だった。今年の参加者は138名(プロ100名、アマ38名)で、賞金総額は3,000万円、優勝賞金は600万円であった。

第1回大会が行われた霞ヶ関CCは当時、アメリカ占領軍の接收下にあり、その好意によって大会が開かれたのだが、今年の大会は日高カントリークラブの好意のボランティアによるところが大きく、大会運営の面でも40年の歳月でいろいろな点で大きく様変わりした。

40年前のトーナメント界は日本オープン、日本ブ

ロ、関東オープン、関東プロのいわゆる公式戦の4大競技しかなかったのだが、20年ほど前からスポンサー競技が増え始め、現在では3月から12月まで毎週、日本全国で高額賞金の競技を行われている。賞金額だけでみれば関東オープンはマイナーナ化しているとさえ言えよう。プロ選手のなかには、それを(隠れた)理由として出場を見合わせる者も増えつつある。高額スポンサートーナメントの谷間にあって、この大会をスキップして休養にあてる傾向が出てきた。選手の健康管理のことを思えば、それも無理からぬことだと言えようが、この40年間に果してきた関東オープンの「一粒の種」としての役割を思えばその傾向に批判的な意見を持つ人も多い。アマチュアの阪田哲男選手もその1人である。

「現在のようにトーナメントが盛んになった源はどこから来ているか。プロもアマもその認識をもってこの試合に出場している者がどれほどいるだろうか。関東オープンは他の公式戦と同じように、木で言え



天候にも恵まれ、スターティングホールのギャラリースタンドはファンでいっぱいとなった

ば『根』のようなもので、ここから幹が育ち枝が張り大木に成長したわけで、単に賞金額だけで評価するのは間違いだと思う。最近のプロは、ともすると金、カネ、カネ。賞金額でトーナメントの価値判断をしているきらいがある。見方をかえればスポンサートーナメントの主催者が賞金額で権威づけようとしているのかもしれない。総額1億円、優勝賞金1,800万円といったトーナメントが増えれば増えるほど、関東オープンの賞金額は見劣りするから、プロの価値判断も低くなる。しかし関東オープンは日本に於けるゴルフの伝統の一端を担ってきたトーナメントなのだから賞金額だけで評価してほしくない」

一粒万倍、一波万波というか関東オープンは40年の間でその役割を果してきたわけて、これは金では代えられないものであろう。阪田選手はさらにこんなふうにも言っていた。

「むしろスポンサートーナメントのほうが賞金を出しすぎるのかもしれない。青木功、尾崎将司、中島常幸、日本ではスーパースターと言われるAONですら、アメリカをはじめとする世界の一流選手が集まるトーナメントではベスト10に入るのがやっと、下手をすれば予選落ちする。日本では超一流だとても世界の桧舞台に立てばその他大勢、看板役者と大部屋の役者はどの差がある。それなのに賞金額だけは世界の一流トーナメントと遜色ない。実力が△5。しかしながら、△10の賞金を出して、それで権威づけたり、選手の歓心を買おうとしている。よくない傾向だと思う。AON級の選手が何10人もいて技を競い合うのなら、それに見合った分の賞金を出しても価値があるけれど、彼らですら世界の舞台では△大部屋の1人にはすぎないのに、日本の賞金は高すぎる。スポンサートーナメントは金を出すことより、賞金を押さえることを考えたほうがいい。関東オープンの賞金が安いのではなく、他の競技が高すぎるのだと思う」

シード権という獲得賞金額によって翌年の出場権(生活権)を保証する制度が確立されているので、各選手が高額賞金のトーナメントに意欲的になるのは無理からぬことであろうし、スポンサーのほうもその意欲を刺激する意見から高額化するのも当然の成り行きなのかもしれないが、阪田選手の意見は一つ

の警告として傾聴に値する。

ジュニア基金

阪田選手の意見に関連することだが、関東プロゴルフ協会の森田吉平会長が建設的な意見を述べていた。

「プロのシニアツアーがこのところ活発になり、新規スポンサーがトーナメントに参入したい意向を持っているよう、大変にありがたいことだと思っている。わたしどもとしては単にプロゴルフ界の、あるいはシニアツアーの隆盛を喜ぶだけなく、日本のゴルフ界全体のために何をやったらよいかを考えなければならない時期に来たと思っている。仮りにシニアトーナメントに3,000万円の賞金を出してくれるスポンサーがいたとしたら、そのうちの何パーセントかを、ジュニア基金のようなものとして、これから若い人に正しいゴルフを普及させていく基金にしていくのも一つの方法だと思う。『若い芽』に正しいゴルフを伝えていくのもわれわれの使命だと思っている。」

シニアトーナメントの新規スポンサーに限らず、賞金額の何割かをジュニア育成基金にしたり、乱れたエチケットやマナーを正すためのキャンペーン資金にしたり、あるいは海外交流基金のようなにして、ゴルフ界全体のために役立てる。あるいはまた、地域の福祉にも一助として役立てることも考えられる。単に賞金を高額化するだけでなく、そしてその恩恵にプロだけが浴びるのではなく、ゴルフ界全体、強いては日本の社会全体と結びついた活動を進めていかなければ、天井知らずの賞金多額化競争はいずれ批難的になるに違いない。その意味で森田会長の意見は時期を得た卓見と言えよう。

他山の石

話題をかえる。今年のコースセッティングは選手に評判が良かった。中島常幸に意見を求めるに、こういうコースはプレーを意欲的にさせてくれるということだった。

「全米や全英オープンでプレーすると、知らず知らずのうちに気分が高揚していくけれど、それは一緒にプレーする相手が一流であると同時にコースのセ

特集●第40回関東オープン

ツティングが一流的の“わざ”を引っ張り出してくれたからだ。日本ではそういうセッティングをしたコースでトーナメントを開催するケースが少ない。その点日本オープンと関東オープンはわれわれをアゲレッシブにしてくれる。これからはもっとこういうセッティングのコースを増やしてもらいたい。せめて1カ月に1度ぐらいは、メリハリのきいたゴルフを求めるようなセッティングをしたコースでプレーしないと、自分の“わざ”が錆びついちゃう”

富永浩はかつてアメリカのミニツアーに参戦していたプロ(アマから転向)で、全米オープンにも地区予選を勝ち抜いて本大会に出場した経験を持ってるが、彼も、まだコースのことを云々するほどの柄ではないけれど前置きしたうえで言っていた。

「年間スケジュールの中で何試合かは関東オープンのようなシビアなセッティングをしたコースでプレーしたいと思う。賞金額より名誉を重んじるトーナメントがあってもいいし、“勝負”的な甲斐のあるコースで自分の実力を試してみたいとも思う」

もっとも、なかには暑いさなか深いラフに痛めつけられ、厳しい“仕事”を強いられたわりには貴う“金”が少ないんだから、やってられないよ、と自棄気味に言うプロもないではないではなかった。いや、その意見はむしろ、この試合をスキップした選手の心



アマチュア界の第一人者 坂田哲男選手

情を代弁していたのかもしれない。

勝負の結果は水巻善典が2日目の17番グリーン上で、アドレス後に動いたボールを打って2打闇を付加されるという“事件”があったものの、そのハンドイキヤップを見事に克服して優勝した。この“事件”はNHKの衛星中継によるテレビカメラのクローズアップで確認されたことから、“肉眼”か、“テレビ”カメラか、自己申告という本来のあり方に波紋を投げかけた新しい事例になった。その“事件”的せいか、最終日のテレビ視聴率は13.8パーセントに及び、およそ1400万人のゴルフファンがテレビ観戦した勘定になるという。今回の“事件”は水巻本人も彼のマーカーを務めた新関善美も“動いた”ことに気づかなかつたことで、自己申告のありように問題を提起したわけだが、ゴルフのテレビ中継が一般化しているだけに、こうした“事件”はさらに増えるものと思われる。それにしても、その場面をビデオで観たうえで水巻が“動いた”事実をいさぎよく認め、17番(パ-5)のスコアを「4」から「6」に書き替えたのは、清々しかった。当日のプレスインタ



中野弘治選手も若いプロ、アマにまじって健闘した

ピューワで言っていた。

「動いたことに気づかなかつたけれど、ビデオを見たら確かに動いていた。人間の目とテレビカメラの“目”は違うけれど、事実は事実だから認めざるを得ない。たまたま神さまが動いたところを写しちゃったんです」この“事件”によって、プロが自分のプレー球の“動き”や自分たちの行為について、いらっしゃうの注意を払うようになれば、他山の石、以て玉を攻くべし、と言えるであろう。

特集●第40回関東オープン

平成元年度 関東オープンゴルフ選手権競技成績表

参加者145名 6,726ヤード パー72 8月31日(木)～9月3日(日) 於: 日高カントリークラブ(東・西コース)

順位	氏名	所属	第1ラウンド		第2ラウンド		第3ラウンド		第4ラウンド		合計
			アウト イン 合計	合計							
優勝	水巻 善典	エース交易	36 32 68	34 35 69	37 37 74	33 37 70	281				
2	木本 幸一	日本電建	35 34 69	36 35 71	35 36 71	34 37 71	282				
3	横山 由一	日本ユン	36 35 71	32 36 68	37 34 71	38 38 76	286				
4	横山 明仁	ミサワ・リゾート	35 37 72	33 36 69	37 35 72	38 36 74	287				
5	鈴木 弘裕	牧場マザー	35 33 68	36 35 71	35 34 69	37 44 81	289				
6	牧野 一裕	原野美	34 35 69	36 37 73	42 34 76	35 37 72	290				
8	深澤 基一	千葉新	39 40 79	37 35 72	34 34 68	34 40 74	293				
10	須貝 信一	山嶋風	35 36 71	35 34 69	37 38 75	40 38 78	293				
11	池内 信治	川井剛昇	38 35 73	36 41 77	35 36 71	37 36 73	294				
11	井俣 一茂	大和精工	39 37 76	35 34 69	38 36 74	39 36 75	294				
11	川俣 宗	ヤマ商	36 36 72	35 37 72	36 36 72	37 41 78	294				
15	草野 聰	栄光ゴルフガーデン	35 38 73	39 39 74	34 36 70	38 39 77	294				
15	中島 水谷	一治	37 34 71	42 38 80	35 37 72	36 36 72	295				
15	中島 勝	幸治	37 36 73	36 38 74	35 39 74	38 36 74	295				
18	長谷川 裕一	寄船	38 35 73	36 38 74	37 37 74	36 38 74	295				
18	長谷川 謙治	橋	36 36 72	36 40 76	37 38 75	37 36 73	296				
18	長谷川 茂	一郎	40 35 75	37 37 74	36 37 73	34 40 74	296				
18	長谷川 茂	長	36 37 73	39 37 76	35 36 71	38 38 76	296				
18	東京五日市	太郎	39 35 74	35 36 71	37 37 74	39 38 77	296				
18	東京五日市	月	37 35 72	37 37 74	38 33 71	39 40 79	296				
24	東見 見	成田スプリングス	35 39 74	39 34 73	38 32 70	41 38 79	296				
24	東見 見	英美	40 37 77	36 35 71	36 38 74	39 36 75	297				
24	東見 見	喜	37 37 74	36 34 70	38 38 76	37 40 77	297				
24	佐藤 修	ブルズ	37 37 74	36 38 74	36 36 72	39 38 77	297				
24	佐藤 修	芳	37 37 74	36 38 74	36 36 72	38 36 74	298				
27	平佐 幸	ヒルズ	36 37 73	39 35 74	36 41 77	38 36 74	298				
27	丸山 德智	田中精	36 35 71	38 41 79	38 36 74	35 39 74	298				
27	丸山 德智	フジ	35 33 68	39 36 75	39 41 80	37 38 75	298				
27	丸山 德智	湖	35 34 69	39 40 79	36 38 74	38 38 76	298				
27	福中 沢	太郎	37 36 73	40 34 74	39 34 73	37 41 78	298				
32	須崎 義夫	ジンボゴルフ	37 37 74	38 37 75	39 38 77	38 35 73	299				
32	須崎 義夫	リード	38 36 74	39 35 74	39 37 76	41 34 75	299				
32	須崎 義夫	平	38 37 75	36 39 75	36 37 73	38 38 76	299				
35	湯瀬 浩	ペリアリ	38 37 75	37 38 75	38 36 74	38 38 76	300				
35	湯瀬 浩	住宅	39 36 75	36 35 71	37 39 76	37 41 78	300				
35	福安 伸	流通	37 38 75	38 37 75	36 36 72	41 37 78	300				
35	福安 伸	専修大	38 36 74	37 34 71	38 36 74	40 41 81	300				
39	小林 駿	徳興	36 35 71	40 38 78	40 37 77	36 39 75	301				
39	小林 駿	アル	40 39 79	37 35 72	39 34 73	40 37 77	301				
39	西村 伸	国際	39 38 77	37 34 71	38 36 74	40 39 79	301				
39	古山 勝	立グリーン	36 35 71	39 37 76	37 37 74	40 40 80	301				
39	古山 勝	第一不動	39 35 74	37 36 73	36 38 74	40 40 80	301				
39	東洋 伸	産業	36 35 71	38 35 73	35 40 75	41 41 82	301				
45	中田 中	中島泰二	37 39 76	38 37 75	38 40 78	38 35 73	302				
45	中田 中	茂樹	36 36 72	37 38 75	39 36 75	40 37 77	301				
45	森 茂	KEY COFFEE	35 39 74	38 38 76	38 37 75	39 37 76	302				
45	森 茂	沼津	36 37 73	39 37 76	39 36 75	39 39 78	302				
50	東根 伸	戸	38 38 76	38 36 74	40 38 78	38 37 75	303				
50	東根 伸	南	39 37 76	35 39 74	36 36 72	39 42 81	303				
50	富羽 伸	部	37 36 73	38 37 75	40 34 74	43 39 82	303				
50	伊能 伸	士	36 36 72	37 38 75	38 36 72	38 43 81	303				
54	新井 伸	浦	40 37 77	38 36 74	40 36 76	40 36 76	302				
54	新井 伸	川	36 36 72	40 35 75	38 37 75	39 37 76	302				
54	江口 伸	東海物産	40 37 77	38 36 74	39 36 75	38 39 77	304				
54	中村 賢	ニセコアドリュース	37 38 75	37 37 74	39 36 75	39 41 80	304				
58	鈴木 伸	ノーザン	36 38 74	40 37 77	40 40 80	37 37 74	305				
58	鈴木 伸	赤城	38 35 73	39 39 78	40 39 79	37 38 75	305				
58	鈴木 伸	サイプレス	38 38 76	37 38 75	38 39 77	42 35 77	305				
58	鈴木 伸	大徳興業	38 35 73	39 36 74	36 42 78	37 38 75	305				
58	鈴木 伸	セントラルスポーツ	38 38 76	39 36 75	38 37 75	37 38 75	305				
58	鈴木 伸	エース交易	40 37 77	38 36 74	36 42 78	37 38 75	304				
58	鈴木 伸	丸新	36 36 72	38 41 79	38 39 77	38 38 76	304				
54	江口 伸	本邦	40 37 77	38 36 74	39 36 75	39 41 80	304				
54	中村 賢	美茂光	37 38 75	37 37 74	39 40 79	37 37 74	304				
58	鈴木 伸	影明郎	36 38 74	40 37 77	40 40 80	37 37 74	305				
58	鈴木 伸	成郎	38 35 73	39 39 78	40 39 79	37 38 75	305				
58	鈴木 伸	合同酒精	38 35 73	41 36 77	39 35 74	42 39 81	305				
58	鈴木 伸	岩間開発	36 38 74	37 40 77	36 37 73	40 41 81	305				
58	鈴木 伸	富士太郎	37 39 76	38 33 71	37 38 75	40 43 83	305				
58	鈴木 伸	相模原	40 39 79	38 34 72	39 40 79	40 46 86	306				
64	中大 友	塙	36 37 73	40 38 78	40 40 80	37 39 77	306				
64	中大 友	一	38 38 76	36 36 72	39 38 77	43 39 82	307				
66	眞板 伸	月夜野	37 38 75	39 37 76	37 42 79	40 39 79	309				
67	阿久澤 伸	川崎国際	40 35 75	37 37 74	40 39 79	39 42 81	309				
67	森 勝	志	40 35 75	36 38 74	37 41 78	44 39 83	310				
69	中島 秀	越生	40 37 77	37 37 74	37 39 76	42 41 83	310				
69	寺 喜	千葉新日本	38 38 76	35 40 75	41 39 80	41 40 81	312				
71	坂田 哲男	袖ヶ浦	38 38 76	35 40 75	39 38 77	43 39 82	307				

(以上決勝進出者) ◎ベストアマ 深坂圭一郎(新千葉)

*はアマチュア

選手会議開幕式にて一本東開 青木昭和

もう一つの関東オープン

キャディーさんのロングスト・デー



司会 宮元昭雄 (KGA広報委員)
出席者 遠藤千恵子 (横山選手のキャディー)
北川瀬鶴子 (水巻選手のキャディー)
佐藤フミ子 (青木選手のキャディー)

人格円満、常識家では一芸に秀ることはできない。もちろんプロ・ゴルファーとて例外ではない。一打、一打に生活がかかっているとなると、ときには悪鬼の形相となり、見る人の心胆を寒からしめる。まして4日間(指定練習日を含めれば5日間)も行動を共にしたキャディーさんには、一刻も心安まらない日々だった。

宮元 ご苦労さまでした。大変でしたね。練習日を含めて5日間のロング・ラン。肉体的な疲れより気苦労の方がより辛かったのではないか、と思いましてよ。

佐藤 青木さんのキャディーをつとめるように言われたとき、正直いってどうしようかと考えましたね。だって世界の青木といわれる人でしょ、私でつとまるのかしら、と悩みました。

宮元 キャディーとしての経験年数は?

佐藤 10年になりますが、こんな大きな大会は初めてだし、責任の重圧にその晩は寝れませんでした。

宮元 北川さんはルンルンでしょうね。

北川 とんでもない。私はまだ2年というキャリアです。当初は戸惑いましたが、水巻さんは終始優しい方でした。

遠藤 横山さんは笑い顔がすごく可愛い人で素敵な人だなあ、と思ってましたし、1年10ヶ月の浅い経験しかない私でしたけど、安心してついて行きました。ただ選手に迷惑をかけないようにしよう、と思うと、自分でやっていることが、いつも不安で

れだけを心がけた5日間でした。

緊張の余り顔中に湿疹

宮元 プロの一球一打には正直言って金がかかっているわけで、勝負が煮詰まると神経質になるものです。人によってクセがあって、気むづかしい人もいれば、当たり散らすプロもいるでしょうね。

佐藤 今だから話も出来ますが、本当は2日目に辞めさせて貰いたい、とキャディーマスターに申し出たんです。初日が終って家に帰ったら、顔中に湿疹が出来て、医者に飛び込みました。緊張のし過ぎが原因と言われましてね。

宮元 初めてのことだし、緊張が極限に達したんでしょうね。

佐藤 プロから言われること以外に何も答えてはいけないと思ってたし、青木さんにはお付きの人もついていましてね、チューイン・ガムの入れるところまで指示される毎日だし、世界で活躍するほどのプロになる人って、大変な人なんだと、つくづく思いました。

随分と叱られましたよ。球の順番が違うとかね。

宮元 それはどういうこと。

佐藤 自分のポールのディンプルに鉛筆で小さく1番目は黒丸1つ、2つ、3つとししをつけているんですね。うっかり①の次に③を渡したりすると「違う」と言って不気嫌な顔をするんです。一流のプロの人は球の使用順番までハッキリしているんだなあ、と思うと、自分でやっていることが、いつも不安で

なりませんでした。

宮元 2日目、水巻選手が2ペナを科せられたね。あの時北川さんはどんな気持ちだった?

北川 とにかく驚きましたし、信じられませんした。比較的のパットも好調でしたし、特に人一倍慎重にパッティングはやってました。私たち選手の邪魔にならないようにと、立つ位置も考えながら移動していました。あの時も大勢の人がグリーン回りにいらっしゃったし、マーカーの新関さんも正面に立って見てましたから、「まさか?」と思いましたね。

ホール・アウトして-9のトップと仲間から聞かれ、私はウキウキ気分でクラブ・ハウスに戻ってきました。

あとで2ペナと聞いて、もうその夜は寝れませんでした。

宮元 横山プロはトップを走っていたし、このまま行けると思っていた?

遠藤 とにかく夢中でした。技術的なことより、いかに気持ちをリラックスさせてあげようか、とただそれだけ考えてついて行きましたね。終わって家で家事を済ませ、家族たちと多少のだんらんを持っていますが、早く寝なければ、と思って床につくんですが、どうしても寝つけなくて3日目が終ったときは疲れもピークでした。

ノドを通ったのはビールだけ

佐藤 私なんか食事もノドを通らなくなってしまった。もちろん夕食の用意とか家事をする気力もなくなり、家族には店屋物でもとて食べて貰うようにしたのですが、私は胃が痛くなり、流動物以外は受け付けなくなり、お陰でビールをガブガブ飲んでました(笑)。

宮元 その苦労は試合を見ている人たちには、ちっとも判らないことだろうし。

佐藤 早朝の練習所から試合後の練習までつきっきりの毎日でしょう。試合の当日などは汚れた球を拭いたり、ディボットに砂を入れたり、使用クラブを濡れたタオルで騎麗に拭いてバックに収め、それからプロに離れないように追いかけていくわけですから。

バックは重いし、プロはどんどん先に歩いて行っ

てしまうし、いや大変でしたよ。

クラブのヘッドに少しでも芝の切草や土がついたら、すごく気嫌が悪くなる人だ、と聞いていましたので、プロにとってそれが当然なのでしょうけど、いや、いや、本当に苦痛というより、毎日が異常でしたね。

宮元 青木選手はバックから使用クラブを抜き出すと、グリップの回りを両手のヒラでグルグルと拭くような真似をよくしてますね。

佐藤 不思議だなあ、と思ってましたが、ギャラリーの人が、何故そんなことをするんだ、と聞いた人がいて、その時「プロとアマは別だよ」と返事をしていましたが、たしかグリップのフィーリングを常に一定にするためにやっているというようなことを言ってました。

時には選手にハッパをかけた

宮元 みなさんはプロからパットラインを聞かれることが多かったと思いますが、そのラインが外れたときはどうでした?

遠藤 自分が不得意なラインのときは必ず聞いてくれました。最終日は前半は好調で、トップを走っていたし、インに折り返して10番でOBを出してしまい、11、12と3ホール連続でダボをたたいた時点でブツツしたのかも知れません。もう泣泣きたくなつて、ショックでカートを引く力が抜けてしまいました。

でも私、横山さんにハッパをかけちゃった。

「しっかりしてよ」と。青木さんが横山さんの肩を抱いて慰めていましたけどね。

佐藤 名手青木でもラインの読み違いはあるんでしょね。外れた時は一瞬すごい顔つきをするんで。宮元 いや、あれはキャディーさんに当たっているんじゃなく、自分自身のハガユサを表に出しているだけなんだよ。

北川 組合せも随分と影響するでしょうね。水巻さんは當時おだやかにやってましたね。後続の青木さんを意識していないといえばそになってしまふでしょうけど、比較的おとなしい若い人たち同士、結構なごやかなようでした。

遠藤 横山さんは最終日青木さんと組んだ展開だったので、「よし、やってやる」と気負いがあったかも

知れません。緊張の連続でしたし、リズムが段々と早くなっていたようでした。

宮元 先行組の水巻は青木が必ず追い込んでくると思っていただろうし、かなりプレッシャーはあっただろうね。一度青木に抜かれたからね。変化が見られた?

北川 8番でイーグル、9番パーディ、アウト33のあがりで気持ちの点では落ちついていましたよ。しかしバック・ナインに入り、10番で並ばれ11番で抜かれたらしいのですが、リーディング・ボードがなくて本人は知らなかったかも知れません。

その時でした、牧野プロが私のところに来て「頑張れよ」と応援してくれました。とっても嬉しかったわ。

宮元 組合せは選手に微妙な精神的圧力をかけることもあります。人間に相性があるように、水巻が青木と組んでいたら、どうなっていたか判らんね。

主人の優しさに惚れ直し

佐藤 主人がテレビで観戦していたようで、私がヘトヘトに疲れて帰ってくるのを見て、「可哀想でかわるものなら、僕がキャディーになってやりたい」と冗談めいて言ってくれましてね、私、なんて優しい人だろうと惚れ直しちゃった(笑)。

宮元 いいご主人ですね。

佐藤 結婚して一度だって主人からカミナリを落とされたことはない私ですが、仕事などといえ、随分と叱られましたよ。でもギャリーの中にはメンバの方も大勢いらっしゃったし、よく励されました。とにかく泣き笑いの5日間でしたよ。

宮元 17番では余裕が見られたんだけど。

佐藤 グリーンが空くのを待っているとき、上空を飛行機が飛んでました。青木さんは「飛行機って、なんであるかゆったり飛べるんだろうね」と空を見上げましたが。

宮元 自分の気持ちを静めていたのかも知れないね。

佐藤 水巻さんがボギーにした様子は判然としてませんでしたが、青木さんは「行ける」と思ってたのでしょうか。3打目は深く入り過ぎてショート、寄せも残したし、いつもの青木さんから見ると、かなり消極的でした。

宮元 結果的には青木もボギーにしたのがすべてだ

佐藤 私は目の前が真暗になりました。

うれしさの余りピンを忘れた

北川 水巻さんは17番を青木さんもボギーを出したことは知らなかつたようでした。しかし、18番パーであがつたとき、本当にこれで終つた、とホットしました。グリーンに近づいたとき、ギャラリーの拍手の大きさに、私がスターになったような感激を味わいました。

宮元 よくわかるなあ、5日間夫婦同然の関係で激戦に耐えて来たわけだから。

佐藤 青木さんが18番のグリーンを狙うとき、ピンフラッグが立つてなかつたんです。

北川 私が感激しそうに立てるのを忘れたの(笑)。宮元 一瞬スタンドから爆笑が起つたけど、緊張の中にもユーモアがあつて仲々いいシーンでした。とにかく大成功でしたよ。

遠藤 私は横山さんと心中してしまつたので、気持ちの整理はついてました。今は満足しています。

北川 水巻さんの奥さんが、小さな赤ちゃんをしっかりと抱いて、優勝の感激を味わつてました。泣いてましたよね。私も貴い泣きしちゃった。

仲間たちから「おめでとう」とお祝いを言われ、水巻選手のキャディーとして務められたことが本当に幸運だった、と今は改めて4日間のことを静かに想い出しているところです。

宮元 本当にご苦労さまでした。入場者も昨年よりも多く、キャディーさんの苦労ももちろんのことながら、俱乐部のメンバーの方々や職員の人たち、皆さんで盛りあがめこの大会、近年にない立派な大会だったと思います。

当初は、オープン開催コースとなつたことに反対にしたメンバーの人たちも今ではきっと喜んでいることでしょう。『日高』の名前は全国に知れわたつたわけで、これから多くのゴルファーが押しかけると思います。

じゃあ5日間、してあげられなかつた家族へのサービスを、これから倍にも3倍にもしてあげて下さい。

ゴルフQ&A

番外篇

事実の確認

関東ゴルフ連盟競技委員長古賀 始

今回の関東オープン2日目における水巻善典選手の「動かした球」についてさまざまな論議がなされ、連盟事務局にも20数通の問合せがあったという。この際、競技運営上の責任者として、ひと言述べておく必要があるように思われる所以わたしの判断をしめしておきたい。

一件の情報はある新聞社によって競技委員にもたらされた。テレビ視聴者が水巻選手が17番(大会2日目)のパーでバーパットを入れる時に、アドレス後にボールが動いたのにそのままストロークしたが、その場合、ペナルティはいくつなのか、という問合せがあったというものだった。情報はプレイヤー自身、同伴競技者、局外者などから得られるが、テレビ中継がある場合はその視聴者も局外者と言えよう。つまりテレビも情報源のひとつである。委員会は情報を得た手段(媒体)がなんであれ、それが『事実であるか否か、分析・検討する必要があると思ひ、その事実をビデオで確かめたところ、微かではあるが確かに動いていた。

しかし当の水巻選手はその動きに気づいていないようであったので、ホールアウト後、確かめてみると彼自身もマーカーの新関善美選手も気がつかなかつたという返事であった。そのホールのスコアは「4」と記入されていたが、スコアカード提出後では訂正是許されず、事の成り行きでは失格(スコアの過少申告)になりかねないと思われたので、本人にも事

実の確認をさせたほうが良いと思い、ビデオを見させた。彼は直ちに『動いている』ことを認めたので、ルール18条2-bにより2打罰を付加してスコアを提出したのである。

今回のケースはたまたま、テレビによつてもたらされた情報によって「事実の確認」をしたのだが、たとえプレイヤー自身、同伴競技者(マーカー)が肉眼では知覚できなかつたとしても、テレビカメラの眼によってとらえられた。それを見た第三者のアップビールを検討、分析した結果、明らかに「動かされていた」ことを本人も納得したので以上のような処置をとつた次第である。なお、競技者委員会は水巻選手にスコア訂正を強制してはいない。あくまでも「事実の確認」をした本人の自己申告によつた。

テレビ中継がなければ、情報はもたらされず、したがつて「事実の確認」も出来なかつたわけで、このことによつて「自己申告」とはいかになされるべきかという問題が各マスコミによつて提起されたが、これはあくまでも事実確認の問題である。証拠がない場合は本人の自己申告によるのが当然のことながら、たとえテレビにせよ、動かされた証拠があつたわけで、これはテレビ情報化時代特有の今日的な問題と思われる。

「あしたから頑張ります」と言った水巻選手の言葉がさわやかで印象的であったことを付記しておく。



競技委員と話し合う水巻選手(右側4人目)

KGA競技委員ルール研究会

日 時 元年 8月17日午前10時～午後3時

場 所 日本出版クラブ会館

出席者 古賀競技委員長以下32名

講 師 河西幹一氏(KGA競技委員長・JGAルール委員)

「ゴルファーは、ルールを熟知してプレーしなければならぬ」とあるが、誰しもご承知のようにこれが難事である。

まして、競技委員ともなれば、熟知していくて当たり前、その上にトラブルの裁定をしなければならない。

しかも、裁判と違って瞬時に判断を求められるわけで、それにはかなりの度胸と勇気が必要となる。

今回はいわば関東オープンに備えての研究会であったが、どの競技でもやっかいなのが『球の救済』である。「打てない所に行ってしまったら全てペナルティを払って救済を受ける」となれば、ゴルフ・ルールも簡単だが、そうはいかない。

誌面の都合で、今号は委員諸氏から出された主な10の質問のみ記載した。解答は次号までの宿題としたい。

1. 「ゴルフ規則解釈の手引き」P158

規則26-1における“合理的な立証”的意味で「立証は球かハザード内にあることを疑問の余地もなく示すものでなくてはならない。(26-1/1)とある、「しぶきの音がした。」の様に、示すことでは合理的な立証にはならないのか?

2. 定義29-cf 委員会がコースと不可分の部分と指定したすべての構築物。について、具体的な例をあげてください。

3. 規則24-2b(イ)(c)に「その障害物の上を越えたり、中または下を通して測ることなく」とあるが、具体的な例をあげてください。

4. 二重救済、加重救済、公正の理念、合理的な立証について規則書では明確に文章化されているのでしょうか?

5. 木の支柱が障害になつたのでドロップをしたら、今度は道路にスタンスがかかる。この場合の救済は?

6. 臨時の障害物のテレビ塔の支線が障害になつたのでドロップをしたら、今度は目標方向に他の支線が介在した。この場合の救済は?

7. Aのティ・ショットは植え込みの中に入り、同伴競技者のBが見たところ、とても打てそうな状態



▲熱心に聴講する競技委員
◆ルールマップ図を指しながら説明する河西幹一氏

ではなかった。しかし、Aは植え込みの横に道路があったので、その障害物よりの救済を受け、ショットしてしまった。この場合

①Aは、球は植え込みの中にはあったが、打てる状態であったと判断し、救済を受け、また、その時大きな声で救済を受ける旨の宣言をした、と主張した。しかし、同伴競技者はその声を聞いていないという。

②Aは、それならばアンプレアブル扱いの1打罰でいいと主張した。

委員会としての裁定は?

8. グリーン上でホールはかなり奥目の高いところにあった。中間は水がななめに川の状態で、球は手前に乗り、グリーン外に出すしかないでの、一番近い所にプレースしなければならないと思ったが、全く等距離にアプローチに有利なところがあったので、そこにプレースしようと思うが可能か?

9. グリーン上で素振りをしていたところ、着いたカッパにグリップエンドが引っ掛けり、球を誤って打ってしまった。球はバンカーに入ってしまい、競技者はそこからプレーを再開したが、処置は正しかったか?

10. Aは1番ホールで、共用キャディーに渡された同伴競技者のクラブで打ってしまった。あわてて自分のクラブで打ち直しホールアウトして、2番ホールに行きティ・ショットを行った。罰打は? また、A以外の選手がティ・ショットしていない場合、1番ホールティ・グラウンド上で、間違って使用してしまったクラブの持ち主Bよりクラブをもらった事にして競技を続行してしまった場合、罰打はどうなるか?

平成元年度 関東ジュニアゴルフ選手権競技

主催 関東ゴルフ連盟 関東高等学校ゴルフ連盟 スポーツニッポン新聞社

●予選競技日 7月25日(火)～27日(木)

●競技会場 ノーザンカントリークラブ錦ヶ原ゴルフ場

●使用コース などの花コース5,875ヤード パー71

さくら草コース6,823ヤード パー72

れんげ草コース2,970ヤード パー36

●出場者数 高校男子の部 998名

中学男子の部 138名

高校・中学女子の部 137名 計1,273名

●競技方法 18ホール・ストロークプレー

(但し、高校男子B、Cブロックは
雷雨のため9ホール・ストロークプレー)

●予選通過者 高校男子110名 中学男子28名 女子15名

●決勝競技日 8月2日(火)～3日(水)

●競技会場 武藏カントリークラブ・笛井コース

高・中学男子 7,012ヤード パー72

高・中学女子 6,573ヤード パー76

●競技方法 8月2日 高校男子の部

18ホール・ストロークプレー

8月3日 高校男子の部

18ホール・ストロークプレー

8月3日 中学男子の部

18ホール・ストロークプレー

8月3日 女子の部

18ホール・ストロークプレー

文・写真 石川博英(KGA広報委員)

毎年7月になると、連盟のジュニア委員、とくに正副委員長の心には、心配の種が芽をのばし始める。なにしろ、1,300名ものジュニア・ゴルファーを一堂に集め、3日間で予選競技を無事に終了させなければならないからだ。

いちばんの心配は雷雨、昨年も今年もやられた。次に日射病、一昨年は17名やられた。

それなら、競技に適正な人数にしほればいいものだが、それが簡単にいかない。

なぜなら、主催三者のこの競技に対する考え方が微妙に違っているからだ。

関東高等学校ゴルフ連盟は、ゴルフ競技というよりも、クラブ活動としてとらえている。したがって1名でも多くの子どもを出場させたくなる。

スポーツニッポンにとって、イベント事業の一つである。もちろんジュニア・ゴルファーの育成のためだから営利を第一の目的にしていることはないが、それでも極端な赤字は困る。

KGAにとっては、ジュニアの競技とはいえ、あく

までゴルフの競技である。したがって、ワン・ラウンド100以上もたたく者の出場は困る。1ブロック、180名が競技として限界だ。

とまあ、こんな具合であるから、出場者数をめぐって、今年もいろいろやりとりがあった。詳述はさけるが、いづれにしても年々増加の一途をたどるジュニア・ゴルファー対策は、火急に立てねばなるまい。

JGAのジュニア会員制度も、本腰を入れて活動を始めると聞く。時は熟したといえよう。

競技内容は省略する。未熟なジュニア・ゴルファーのスイングがどう、グリップがどうといったところでしょうがあるまい。ただ、大人と違って、伸び伸びとフルスイングし夢中になってクラブを振りまわしていたことだけは記したい。それは見る者にとって気持の良いシーンだった。

ここでは基本的なマナーに欠ける行動について、二、三苦言を呈したい。

競技当日の朝、それもスタート時刻が迫った時点でなんと9名の欠席を申し出てきた高校があった(特に名は秘すが、静岡県の某校とだけは記しておこう)。その非常識さは、関係者はもちろん、仲間の先生方の顰蹙を買っていた。

2日目は、はげしい雷雨のため、プレーを中断。やむを得ず9Hの競技となつた。この委員会の決定に対し、相当数の親よりクレームがつけられた。考えていただきたい。『生命とゴルフとどちらが大切か』これはルールの以前の問題である。

決勝競技(武藏・笛井コース)ともなると、さすがに、粒がそろっており、大人顔負けの豪快なショット、見事なアプローチを見せてくれる選手が多かった。

ここでも苦言を一つ。特に名は秘すが(某有名人の子弟とだけ記しておこう)高2の某君の言動は目に余るものがあった。

帽子はスタートの時だけ着用、あとは無帽、ウェアのエリを立て、口のきき方は乱暴そのものであった。余りの事に、プレー終了後、委員長が厳重に(といっても、やさしく論すがごとく)注意せざるを得ない始末だった。

鉄は熱い中に打たなければならぬ。ジュニアの内に、技術も、マナーもきちんと身につける必要があることは言うまでもない。

ともあれ、今年のジュニア達の『熱い夏』も終わった。しかしジュニア委員の心配の種は依然として心の中に宿ったままである。

競技



勝者の笑み 左より色部久昭(周西中・3)片山晋吾(水城高・2)小久保由美(埼玉栄高・3)

平成元年度 第10回 関東ジュニアゴルフ選手権決勝競技

高校男子の部

順位	氏名	学校名/学年	IR	2R	合計	順位	氏名	学校名/学年	IR	2R	合計	順位	氏名	学校名/学年	アクトン	合計	
優勝	片 山 晋 典	水 城 (2)	71	74	145	56	山 嶋 博 史	埼 玉 宮 (1)	86	82	168	優勝	色 部 久 昭	周 西 (3)	37	41	78
2	久保谷 健一	秦 野 曾 星 (3)	78	70	148	56	宝 光 廣 向	東 学 浦 安 (1)	84	84	168	2	久 田 謙	啓 明 学 園 (3)	37	42	79
2	横 尾 要	東 学 浦 安 (2)	75	73	148	56	鈴 木 健 一	上 (2)	84	84	168	3	馬 場 聖 二	明 中 八 王 子 (3)	38	42	82
2	遠 伸 武 彦	日 体 在 原 (2)	74	74	148	64	向 江 真 尚	日 体 在 原 (2)	89	80	169	3	染 谷 浩 二	川 間 (3)	39	43	82
5	宮 本 雄 昌	水 城 (2)	75	74	149	64	小 池 肇	西 武 (3)	87	87	169	5	松 嶽 俊 一	大 矢 部 (2)	43	40	83
6	中 田 伸 昌	水 城 (3)	76	74	150	64	猪 俣 健	日 体 在 原 (3)	88	81	169	5	長 尾 卓	五 十 篠 (3)	42	41	83
6	秋 山 将 司	伊 東 (3)	76	74	150	64	対 島 利 健	日 体 在 原 (2)	89	89	169	7	比留間 俊 光	つ く し 野 (3)	46	38	84
7	橋 田 真 一	水 城 (3)	76	77	153	64	佐 々 木 実 實	日 体 在 原 (3)	86	83	169	7	岩 本 高 志	宮 (3)	40	44	84
8	長 谷 川 芳 行	埼 玉 栄 (3)	80	74	154	64	鈴 木 孝 次	島 麻 (3)	85	84	169	7	原 田 武 秀	日 大 (3)	43	41	84
9	浜 島 佳 弘	城 (3)	75	80	155	64	水 野 實 司	早 美 (3)	84	85	169	7	松 光 昌 史	大 松 (3)	43	41	84
10	伊 東 勝 成	城 (3)	80	76	156	64	細 井 直 勝	埼 玉 (3)	84	85	169	11	轟 山 美 伎	日 大 (3)	41	44	85
10	足 立 曾 言	東 学 浦 安 (3)	78	72	156	72	岡 本 好 弘	水 城 (2)	87	87	170	11	石 井 隆 明	笠 原 (2)	43	42	85
12	平 井 公 義	青 山 学 园 (3)	81	76	157	72	岡 本 好 弘	埼 玉 (3)	89	81	170	13	上 野 秀 明	勝 藤 市 立 (3)	43	43	86
12	金 坂 文 夫	千葉 日 大 (3)	79	78	157	72	北 田 康 一	西 武 (3)	88	82	170	13	渕 田 研	鳥 山 (2)	42	44	86
12	竹 藤 新一	西 武 台 千 叶 (3)	79	78	157	72	齊 木 肇 信 介	千 葦 日 大 (3)	81	89	170	13	中 村 貴 志	寺 宮 (3)	42	44	86
12	秋 山 博 文	埼 玉 栄 (3)	77	80	157	72	露 久 保 也	埼 玉 (3)	87	83	170	13	林 浩 二	羅 (3)	45	41	86
12	白 滝 浩 真	昭 明 学 園 (2)	73	84	157	72	坂 田 真 朗	志 (3)	80	90	170	17	石 田 豊 登	三 帯 (3)	42	45	87
17	横 木 好 弘	青 山 学 园 (3)	79	79	158	72	関 伸 誠	西 武 (3)	86	84	170	18	小 島 光 一	明 大 中 (3)	44	44	88
18	神 田 隆 志	日 体 在 原 (2)	82	88	160	72	中 田 敦 史	小 松 (原) (2)	86	84	170	18	清 里 俊 文	駒 (3)	43	46	88
18	矢 吹 伸	日 体 在 原 (3)	81	79	160	72	久 保 伸 新	新 斎 (大) (2)	85	85	170	21	大 杉 正 実	土 (2)	48	40	88
20	石 川 雄 一 徳	日 体 在 原 (3)	82	83	161	72	小 木 田 一 (1)	大 田 (3)	84	86	170	21	金 子 賢	尾 (3)	43	47	90
20	岡 田 翔 草	成 田 北 (3)	81	80	161	72	市 川 一 行	向 (3)	83	88	171	22	杉 山 博	高 冠 (3)	43	47	91
20	張 替 勇	日 大 習 志 (3)	79	82	161	82	菊 田 誠	洞 (3)	82	89	171	22	松 田 孝 太 郎	目 黒 第 四 (3)	46	45	91
20	河 守 計 俊	日 体 在 原 (3)	77	84	161	82	根 田 秀	青 山 (3)	89	82	171	22	方 山 尚 沢	明 大 中 (3)	43	48	91
24	島 中 大 裕	明 中 八 王 子 (3)	82	79	162	82	白 山 露 太	土 士 (3)	81	90	171	23	吉 本 伸 太 郎	鶴 (3)	46	47	93
24	今 野 康 晴	東 学 浦 安 (1)	81	81	162	82	五十 五 風 克 統	自 (3)	85	81	171	25	金 井 謙	田 名 (3)	47	46	93
24	R. シ ョ ミ ラ	ハ ワ イ (1)	82	82	162	82	杉 木 沢 志	忠 (3)	83	88	171	25	佐 佐 勇	野 (3)	51	42	93
24	塙 田 隆 一	東 学 浦 安 (1)	82	78	162	82	杉 木 澤 大 駒	日 体 在 原 (3)	84	87	171	28	河 守 大 三	吉 田 (2)	50	46	96
27	岡 田 司	土 游 日 大 (3)	83	80	163	89	富 国 高 雄	向 (2)	82	90	172	29	松 沢 宏 典	朋 (3)	47	53	100
27	諸 橋 和 夫	横 沢 (3)	82	81	163	89	鶴 田 利 一	東 学 浦 安 (3)	89	83	172	29	山 田 伸 一	寺 (3)	43	47	90
27	南 本 修	東 学 浦 安 (3)	81	82	163	89	小 木 田 祐	日 体 在 原 (3)	82	89	171	29	杉 木 澤 博	高 冠 (3)	43	47	91
27	永 田 鉄 治	横 沢 (3)	84	79	163	89	Y. 小 木 伸	日 体 在 原 (3)	86	86	172	29	松 田 伸 一	目 黒 第 四 (3)	46	45	91
27	内 山 隆 伸	大 (3)	82	79	163	89	Y. 小 木 伸	日 体 在 原 (3)	81	90	171	29	方 月 伸 沢	明 大 中 (3)	43	48	91
32	新 井 大 樹	日 体 在 原 (3)	82	82	164	89	裏 輪 伸 司	洞 (3)	82	86	172	30	吉 本 伸 太 郎	鶴 (3)	46	47	93
32	遠 伸 貴	水 (3)	82	82	164	89	伊 藤 裕 二	日 大 鶴 ッ 丘 (3)	90	83	173	30	佐 佐 勇	影 洋 (3)	47	51	93
32	佐 藤 真 裕	大 中 野 (1)	81	83	164	94	市 井 一	東 浦 安 (2)	90	84	174	30	河 田 伸 一	吉 田 (3)	47	53	100
32	菊 地 貴 之	東 学 浦 安 (2)	78	86	164	94	毛 利 葵	東 浦 安 (3)	89	83	172	30	鶴 田 利 一	寺 (3)	47	45	91
36	葛 本 雅 之	東 学 浦 安 (3)	83	82	165	94	渡 边 千 春	立 (正) (1)	86	88	174	30	中 田 伸 一	寺 (3)	47	40	91
36	今 井 克 宗	昭 伸 (3)	82	83	165	94	内 岩 幹 治	白 日 (3)	89	85	175	30	C. ホ シ ノ	ア ワ ウ イ (3)	37	43	80
36	鈴 木 雅 伸	城 (2)	83	83	165	94	金 成 照 勝	明 大 中 (2)	88	87	175	30	久 保 伸 一	天 羽 高 (1)	38	42	80
36	日 野 雄 大	明 中 八 王 子 (2)	81	84	165	94	加 藤 雅 伸	模 構 (3)	88	87	175	30	福 岩 美 晃	白 鶴 女 子 高 (1)	39	41	80
36	永 水 光 光	城 (2)	80	85	165	94	加 藤 雅 伸	浦 大 (2)	85	90	175	5	金 木 紗 順	宇 郡 宮 女 子 高 (2)	40	41	81
36	後 藤 正 一	騎 場 学 園 (3)	79	86	165	94	山 本 伸 厚	木 (3)	85	90	175	5	能 登 重 紀	埼 玉 宮 (3)	38	48	81
36	小 林 紀	尊 大 (2)	84	81	165	94	山 本 伸 厚	透 (2)	84	90	177	5	龍 田 伸 一	日 ハ マ サ キ ハ ワ イ (1)	42	43	85
43	河 合 伸	日 体 在 原 (3)	83	83	166	103	毛 利 葵	希 聖 学 (院) (2)	90	86	176	7	中 島 真 弓	山 梨 英 和 中 (1)	41	44	85
43	A. 土 門 英 司	埼 玉 栄 (2)	82	84	166	103	武 内 道	理 子 (3)	89	87	176	8	東 尾 球	富 士 丘 中 (2)	45	41	86
43	中 川 淳	前 横 芳 美 (2)	83	85	166	103	木 本 雄 二	日 体 在 原 (3)	88	87	176	9	山 本 智 美	作 新 学 院 高 (1)	47	41	88
43	大 作 伸	西 武 台 千 叶 (2)	80	86	166	103	山 内 貴 道	大 (3)	88	88	176	9	有 岸 智 香	堀 越 高 (1)	43	45	88
43	山 本 求 秀	水 城 (2)	85	81	166	103	日 体 在 原 (3)	87	90	177	12	藤 田 理 恵	國 学 院 高 (2)	47	44	91	
43	青 藤 誠 一	泉 (3)	84	82	166	103	瓦 井 実	王 実 (2)	87	90	177	13	金 沢 星 華	我 孫 子 二 年 番 高 (2)	47	45	92
43	山 岐 工 己	東 学 浦 安 (3)	83	84	167	103	小 野 寺 義 紀	士 浦 日 (2)	87	90	177	13	柳 井 伸 大	新 潟 中 央 高 (3)	46	47	93
43	野 仲 伸 二	大 (3)	83	84	167	103	内 田 賢 章	越 (2)	86	91	177	14	福 井 伸 一	国 女 子 高 (2)	48	47	95
43	有 賀 史 剛	前 横 芳 美 (2)	82	85	167	103	増 田 亮	浦 日 (1)	90	89	179	14	橋 口 千 鶴	士 浦 中 央 高 (3)	48	47	95
43	神 谷 安 治	日 体 在 原 (3)	81	86	167	103	橋 本 萬 史	洞 和 学 院 (3)	90	89	179	14	大 竹 茜 佳	サンモール高島 (2)	欠場		
43	岡 野 忠 広	鳴 山 (1)	81	79	167	103	川 岸 健 二	日 体 在 原 (3)	86	93	179	15	境 邦 孟	周 岩 (3)	92	180	
43	黒 江 成 典	鳴 山 (2)	86	81	167	103	邦 孟	学 園 (1)	90	94	184	16	中 久 賢 人	和 田 阳 大 (2)	95	184	
43	セント・メリーゴルフ	セント・メリーゴルフ (2)	85	82	167	103	和 田 阳 大 (2)	自 然 (2)	89	95	184	16	和 田 阳 大 (2)	高 橋 二 部 (3)	86	99	185
56	北 山 伸 士	土 浦 日 (2)	83	85	168	103	柳 井 伸 大	西 武 台 (2)	90	97	187	16	中 久 賢 人	高 橋 大 五 郎 (2)	92	180	
56	中 奥 伸 也	伊 東 (3)	83	85	168	103	高 橋 大 五 郎	鳴 山 (3)	90	97	187	16	和 田 阳 大 (2)	高 橋 大 五 郎 (2)	92	180	
56	S. ド イ	ハ ワ イ (2)	82	86	168	103	中 久 保 伸	鳴 山 (2)	90	97	187	16	和 田 阳 大 (2)	高 橋 大 五 郎 (2)	92	180	
56	桐 木 貴 勇	日 体 在 原 (2)	80	88	168	103	高 橋 大 五 郎	鳴 山 (3)	90	97	187	16	和 田 阳 大 (2)	高 橋 大 五 郎 (2)	92	180	
56	高 橋 貴 仁	日 大 三 島 (3)	86	82	168	103	大 竹 茜 佳	鳴 山 (2)	90	97	187	16	和 田 阳 大 (2)	高 橋 大 五 郎 (2)	92	180	

車はハイワード招待選手

新規加盟倶楽部紹介

金沙郷カントリークラブ

1. 個樂部名 金沙郷カントリークラブ
住 所 茨城県久慈郡金沙郷村中利員2856-1
電

理事会・分科委員会

これらの事項を規約に盛り込む必要がある。また、62年度理事会において決定した常務理事会についても、規約に明文化することが必要である。

その他細部にわたって検討することになろうが、いずれにしても規約改正は第33条に定められているように総会の決議事項であるから、米年度の定期総会まで新設規約改正委員会でご検討いただき、提案することになる。なお、この委員会は、理事長、副理事長、常務理事、学識経験者で構成したいが、その人選は、理事長、副理事長に一任いただきたい。

3. 入会審査の件

入会審査委員会（平成元年9月6日11時30分）より、上程された下記3俱楽部の加盟を承認した。

- ①金砂郷カントリークラブ（茨城）
 - ②サニーフィールドゴルフ俱楽部（茨城）
 - ③南長野ゴルフ俱楽部（長野）
- 以上3俱楽部の加盟によって、総加盟俱楽部数は393となった。

4. 後援競技の件

下記3競技の後援を承認した。

- ①第8回 日刊アマ・関東ダブルスゴルフ選手権
- 主催 日刊スポーツ新聞社
- 日程 予選 9月22日（金）
- 越生ゴルフクラブ 他4会場
- 決勝 10月30日（月）
- セントラルゴルフクラブ 東コース

- ②'89 茨城アマチュアダブルスゴルフ選手権
- 主催 茨城新聞社
- 日程 予選 10月17日（火）
- 水戸・ゴルフ・クラブ 決勝 11月10日（金）
- 水戸グリーンカントリークラブ

- ③「第1回 ミズノ・東京オープンゴルフトーナメント」
- 主催 ミズノ株式会社
- 日程 11月24日（金）、25日（土）、26日（日）

5. (財)日本ゴルフ協会評議員推薦の件

現評議員は、平成元年9月30日をもって、任期満了となるので、JGAより当連盟に13名の推薦要請があった。人選については、理事長一任との提案があり、全員これに賛意を示した。

また理事長より「原作的に現評議員を推薦したい」との提案があり、全員これを承認した。

6. 平成2年度主催競技開催俱楽部及び日程の件

別紙の競技日程表（20頁参照）のとおり、これを承認した。

7. 委員会報告他

・古賀競技委員長より、次記の報告がなされた。

「競技委員有志より、プレシニア競技の後援依頼があったが、実績を見た上で競技委員及び関係者で検討し、善処したい」

・竹井広報委員長より、次記の報告がなされた。

「現在のKGAニュースは、競技記録が主体となっている。もっと、連盟の各委員会活動のPRやゴルフ場の面当しているアップ・トゥ・データなどの記事を入れたい」

・事務局より、次記の報告がなされた。「日常業務の合理化、スピード化を図るためにパソコンを導入することにした」

以上をもって、審議、報告を終了、議長15時40分閉会を宣した。

平成元年度第2回入会審査委員会議事録

日 時 平成元年9月6日（水）午前11時30分～12時

場 所 ホテルニューオータニ「すいせんの間」

出席者 細川理事長、中井委員長、相山副委員長、藤原、福田、小山、松野、斎藤、竹井各委員

鬼沢、海老原、推薦理事

—決議事項—

1. 新規加盟申請俱楽部審査の件

平成元年9月6日現在、加盟申請のあつた下記3俱楽部について、慎重審議の結果これを承認、理事会に上程することを決議した。

①金砂郷カントリークラブ（茨城）

②サニーフィールドゴルフ俱楽部（茨城）

③南長野ゴルフ俱楽部（長野）

2. (財)日本ゴルフ協会普通会員入会審査

平成元年9月6日現在、入会申請のあつた11名の者の審査を行い、これを承認。JGA入会審査委員会に上程することとした。

平成元年度第3回月例競技委員会議事録

日 時 平成元年7月20日（木）正午

場 所 JGA会議室

出席者 松野委員長、山崎、川島各副委員

長、松岡、岡田、岡野、嶋田、各委員 学生連盟委員

—討議及び決議事項—

1. 7月度競技報告及び総括

山崎副委員長より下記の報告及び総括がなされた。

梅雨の時期でもあり、午前中は雨であったが、午後はよいコンディションとなった。日高カントリークラブは、関東オープン開催コースのためか、コース・セッティングに、並々ならぬ努力のあとが見受けられた。

競技は順調に進み無事終了した。

エントリー数は以下のとおり。

開催日 平成元年7月17日（月）

コース 日高カントリークラブ

エントリー 151名

（男子109名、女子42名）

欠席者数 事前連絡 7名

（男子6名、女子1名）

無断欠席 0名

出場者数 144名（男子103名、女子41名）

料観者 2名（男子2名）

ミーティング欠席 2名（男子2名）

失格者 0名

棄権者 0名

プレーイング 男子2名 岡田光史（嵐山）

（桜本 隆（南総））

女子3名 加藤勝栄（平塚）

（富士見） 斎藤美樹（甘楽）

市川慶子（江戸崎）

3. 8月月例出場資格者確認の件

男子575名（+25） 女子248名（+20）

以上を確認した。

4. 8月のテーマ

・ティ・グラウンドの前方を横切らない

・ボールマークの修復の徹底

5. その他

①来年度競技開催俱楽部について

松野委員長より、来年度月例競技開催俱楽部について、下記のように交渉中の報告がなされた。

①金砂郷カントリークラブ（茨城）

②サニーフィールドゴルフ俱楽部（茨城）

③南長野ゴルフ俱楽部（長野）

2. (財)日本ゴルフ協会普通会員入会審査

平成元年9月6日現在、入会申請のあつた11名の者の審査を行い、これを承認。JGA入会審査委員会に上程することとした。

元年度 第3回月例競技委員会議事録

日 時 平成元年7月20日（木）正午

場 所 JGA会議室

出席者 松野委員長、山崎、川島各副委員

長、松岡、岡田、岡野、嶋田、各委員 学生連盟委員

理事会・分科委員会

松野委員長より以下の提案があり、全委員これを確認した。

・運営

スタート表に表記してある時刻の30分前までに受付をさせること。

これに違反した場合、2ペナルティとする（従来どおり）。

・失格

当日のスタート時刻（諸般の事情により、予定時刻より遅れる場合もある）に間に合えば、委員長判断で遅刻扱いとし、失格にはしない。

元年度第4回月例競技委員会議事録

日 時 平成元年8月24日（木）正午

場 所 JGA会議室

出席者 山崎副委員長、

松岡、本吉、大久保、岡野、嶋田、各委員

学生連盟委員

—討議及び決議事項—

1. 8月度競技報告及び総括

山崎副委員長より下記の報告及び総括がなされた。

参加者が189名と多く、心配されたが、開催俱楽部の協力もあり、無事終了した。

エントリー数は以下のとおり

開催日 平成元年8月18日（金）

コース 我孫子ゴルフ俱楽部

エントリー 189名（男子116名、女子73名）

欠席者数 事前連絡 10名

（男子8名、女子2名）

無断欠席 1名

出場者数 178名（男子108名、女子70名）

料観者 0名

ミーティング欠席 0名

失格者 0名

棄権者 0名

プレーイング 男子3名

得能三郎（柄木）

小川 透（岡部チサン）

竹石 誠（筑波）

3. 9月月例出場者資格者確認の件

男子542名（-33） 女子210名（-33）

以上を確認した。

4. 9月のテーマ

・ティ・グラウンドの前方を横切らない

・プレーの迅速化

元年度第3回コース・レート委員会議事録

日 時 元年8月25日（金）正午

場 所 JGA会議室

出席者 新井副委員長、小室、前川、阪田、佐久間 各委員

—決議事項—

1. 上越国際カントリークラブ・十日町コース以下4俱楽部のコース・レート査定

上記俱楽部のコース・レートについて、机上配布の資料をもとに次記のように決定した。

（1）上越国際カントリークラブ

十日町コース

ペントグリーン

つつじ・信濃 パック・ティ 72.0

レギュラー・ティ 70.0

つつじ・苗場 パック・ティ 71.3

レギュラー・ティ 69.5

信濃・苗場 パック・ティ 71.3

レギュラー・ティ 69.4

（2）玉造ゴルフ俱楽部桧木コース

ペントグリーン

パック・ティ 71.7

レギュラー・ティ 69.5

（3）中央都留カントリー俱楽部

（イ）高麗グリーン

パック・ティ 69.6

レギュラー・ティ 67.8

（ロ）ペントグリーン

パック・ティ 68.0

レギュラー・ティ 66.3

（4）あづみ野カントリークラブ

ペントグリーン

パック・ティ 71.3

レギュラー・ティ 68.7

2. コース・レート査定スケジュールの件

8月25日現在、査定希望の4俱楽部について、以下のように査定田を決定した。

ユニオンエースゴルフ俱楽部 9月29日

三井の森蓼科ゴルフ俱楽部 10月11日

甲斐駒カントリークラブ 10月12日

サニーフィールドゴルフ俱楽部 10月26日

元年度第2回ハンディキャップ委員会議事録

日 時 平成元年9月7日（木）正午

場 所 JGA会議室

出席者 福田委員長、渡邊、古茶各副委員

長、斎藤、小林、桑原、吉澤、服部、笠原、町田、宮本、関根、寺田、佃、鶴島、山田、山本 各委員

—討議及び決議事項—

開会に先立ち、福田委員長より、以下の報告、提案がなされた。

「最近、各ゴルフ場もOA化がすみ、各種のパソコンが導入されている。業者は、ソフトにHDCP計算システムを組み入れ、JGA・HDCPも算出出来ると俱楽部へ売り込んでいるようだが、一部採用俱楽部での内容をみると、非常に単純なもので完全なJGA・HDCPとはとても思えない。当委員会としても第2回のアンケートをもとに、内部調査が必要と思われる。また、JGA・HDCPの普及活動として、昨年実施したような県単位の委員会も積極的に開催していくべき」

1. 第2回アンケート中間報告について

9月6日現在の中間報告とともに、各委員より以下のような活発な意見交換がなされた。

- ・回答率が43%では、正確な判断が出来ない。再度、未回答俱楽部へ催促する必要がある。
- ・新規入会俱楽部へは、推薦理事が責任もってJGA・HDCPの採用を義務付けさせる。

・広報委員会でも、KGAニュース等で全面的にバックアップを行っているが、理事会においても、尚一層の協力を戴きたい。

- ・理事選出俱楽部が未採用という信じられない実績がある。不採用俱楽部の理由解明に役立つと思い、KGAニュースで取り上げようとしたところ、取材を断られたケースがある。
- ・未実施俱楽部の理由について回答があるものに対して委員会で検討し、未採用の理由解明が必要がある。
- ・KGAニュースでも取り上げた扶桑カントリークラブに見学に行き、委員会としてモデル俱楽部の実情を知る必要がある。

意見交換のち、福田委員長より以下の提案がなされ、全委員これを認めた。

1. 10月20日を締め切りに再度、未回答俱楽部にアンケートを送付する。

2. 11月10日にアンケート最終報告と、JGA・HDCP採用モデル俱楽部見学を兼ね、扶桑カントリークラブにて第3回委員会を開催する。

月例競技成績表

(平成元年7月月例)

7月17日(月) 日高カントリークラブ
参加: 男子 103名 女子 41名

〈男子〉

順位	氏名	俱楽部	アワドイン合計
1	岡田 光史	嵐山	36:35:71
1	桜本 隆南	駿	34:35:72
3	深堀圭一郎	新千葉	36:36:72
3	樋田 徳康	御殿場	37:35:72
5	奥延通康	茨城	39:34:73
5	大竹 徹	高根	36:37:73

コース・レート 71.7

コート・レート 71.7

(平成元年8月月例)

8月18日(金) 我孫子ゴルフ俱楽部
参加: 男子 108名 女子 70名

〈男子〉

順位	氏名	俱楽部	アワドイン合計
1	加藤 謙栄	平塚富士見	42:37:79
1	斎藤 美樹	甘楽	37:41:79
1	市川 康子	江戸崎	39:41:79

コース・レート 69.9
* 7月度同スコアの為、岡田、桜本両氏の
プレー・オフが行われ、斎藤氏が優勝。

〈女子〉

順位	氏名	俱楽部	アワドイン合計
1	伊藤 三郎	柏木	36:36:72
1	小川 透	岡部チサン	38:34:72
1	竹石 誠	筑波	34:38:72

コース・レート 72.3
* 7月度同スコアの為、斎藤、市川
各氏のプレー・オフが行われ、斎藤氏が優勝。

お知らせ

訃報

荒木 義朗氏

尖戸国際カントリークラブ理事長

6月3日逝去 享年54歳

謹んで哀悼の意を表します

関東ゴルフ連盟「加盟俱楽部便覧」(平成元年1月31日現在)の変更事項は下記の通りです。お手数ですが、訂正筆をお願いします。

理事長

●宇都宮カントリークラブ

(新) 盛川 誠二

(旧) 佐藤和三郎

●大洗ゴルフ俱楽部 (新) 石川 周

●武蔵カントリークラブ

(新) 羽鳥 秀二 (旧) 武内 俊三

●桜ヶ丘カントリークラブ

(新) 桑山 健一

(旧) 小林甲子郎

●相武カントリー俱楽部

(新) 中村 一郎 (旧) 西村 龍介

●川崎国際カントリー俱楽部

(新) 鈴木育太郎

●川崎国際カントリー俱楽部

(新) 鈴木育太郎

(旧) 大倉 徳治

●茅ヶ崎ゴルフ俱楽部

(新) 安達 禮三

(旧) 安達 慎三

俱楽部代表者

●金乃台カントリークラブ

(新) 重國 昭夫

(旧) 中川 正典

●東松山カントリークラブ

(新) 今野 豊

(旧) 吉田 正昭

●武藏カントリークラブ

(新) 羽鳥 秀二

(旧) 武内 俊三

●桜ヶ丘カントリークラブ

(新) 桑山 健一

(旧) 小林甲子郎

●相武カントリー俱楽部

(新) 中村 一郎 (旧) 西村 龍介

●川崎国際カントリー俱楽部

(新) 鈴木育太郎

(旧) 大倉 徳治

●茅ヶ崎ゴルフ俱楽部

(新) 安達 禮三

(旧) 安達 慎三

●南富士カントリークラブ

(新) 大石 幸一

(旧) 杉山 繁

支配人

●大洗ゴルフ俱楽部

(新) 小森谷 晃 (旧) 三浦 保

●コスマクラシッククラブ

(新) 太田 悅郎

(旧) 古谷 威

●桜ヶ丘カントリークラブ

(新) 千田 祐一

(旧) 柳 祐男

東京事務所

●富士河口湖ゴルフ俱楽部

(新) ⑩106新宿区西新宿7-1-10

⑩03-227-0921⑩03-227-0909

●相武カントリー俱楽部

(新) 中村 一郎 (旧) 西村 龍介

(旧) ⑩千代田区鍛冶町1-9-1

⑩03-254-9471⑩03-254-9474

平成元年10月1日 発行 KGAニュースNo28

発行所 関東ゴルフ連盟 東京都千代田区丸の内1-1-1 TEL(03)215-0511 発行人 細川護貞 編集 広報委員会